

④ 「いつも気をつけよう」・「たいせつ」一覧（読むこと [説明文]）

| | | | | |
|--------------|--|--|--|--|
| <p>一年・二年</p> | <p>○せつめいしている文しょうを読むときに気をつけること（・せつめいのじゅんじょ ・わけをあらわす言い方 ・時間をあらわすことば）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 22%;"> <p>【たいせつ】せつめいしている文しょうを読む せつめいしている文しょうを読むときには、つぎのことに気をつけます ・じゅんじょ ・わけ</p> </div> <div style="width: 22%;"> <p>【たいせつ】じゅんじょに気をつけて読む ・時間をあらわすことばを見つけて、いつのできごとかをたしかめる。 ・だれが、なにをしたかや、なにがあったかをくわしく読む。</p> </div> <div style="width: 22%;"> <p>【たいせつ】分かりやすいせつめいのしかた ・まとまりごとにくぎる。 ・「まず」「それから」などのことばをつけて、じゅんじょよくせつめいする。</p> </div> <div style="width: 22%;"> <p>【たいせつ】自分の知っていることと文しょうをつなげて読む ・書かれていることについて、自分の知っていることやしたことはないか、思い出す。 ・自分の知っていることと、にているところやちがうところに気をつける。</p> </div> </div> | | | |
| <p>三年</p> | <p>○時間を表す言葉やじゅんじょを表す言葉、わけを表す言葉に気をつけて読む。 ○絵や写真と文章を合わせて読む。 ○書かれていることと、自分の知っていることをつなげて読む。 ○文章全体を、「はじめ」「中」「終わり」の大きなまとまりでとらえる。 ○段落（文章を組み立てているまとまり）ごとに、書いてあることをとらえる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 22%;"> <p>【たいせつ】段落とまとまり ・文章は、ふつう、「はじめ」「中」「おわり」の大きなまとまりに分かれている。大きなまとまりは、一つの段落でできていることも、いくつかの段落があつまってできていることもある。 ・一つ一つの段落には、それぞれ、ひとまとまりのないようが書かれている。</p> </div> <div style="width: 22%;"> <p>【たいせつ】本を使って調べる ・図書館では、あんない図や本の分け方などを手がかりに、本をさがすことができる。 ・目次やさくいんは、本のどこに知りたいことが書かれているかをさがす手がかりになる。</p> </div> <div style="width: 22%;"> <p>【たいせつ】せつめいの中心になる言葉や文をとらえる ・段落の中で、中心になる言葉や文を見つけるときは、くり返し出てくる言葉や、問い・題名とつながりのある言葉などに気をつける。</p> </div> <div style="width: 22%;"> <p>【たいせつ】考えの進め方をとらえて読む 科学読み物を読むときは、筆者がどのように考えを進めているかに気をつけることが大切です。 ・「問い」や「はじめ」に書かれていることから、何についての文章なのかを知る。 ・段落ごとに書かれていないようをたしかめる。 ・こそあど言葉や、文章のつながりを表す言葉に気をつけて、段落どうしがどのようにつながっているかを考える。 ・実験やかんさつなど、調べたことと、そこから考えたことに気をつけて読む。</p> </div> </div> | | | |
| <p>四年</p> | <p>○文章全体を、「初め」「中」「終わり」の大きなまとまりでとらえる。 ○段落をとらえ、段落どうしのつながりを考える。 ○文章の中にくり返し出てくる言葉などに気をつけて読み、段落の中心になる言葉や文を見つける。 ○筆者の考えがどこに表れているかを読み取り、事実や説明と筆者の考えの関係を考える。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 22%;"> <p>【たいせつ】考えをのべた文章では ・自分の考えを強く印象づけるために、その考えを、文章の始まりの部分か終わりの部分のどちらかでのべたり、両方でくり返しをべたりしている。 ・自分の考えに共感してもらうために、他の段落で、考えのうらづけとなる事がらやそう考える理由などをのべている。</p> </div> <div style="width: 22%;"> <p>【たいせつ】さまざまな文章を読む ・目的に合わせて、本だけでなく、さまざまな種類の文章を読むようにする。 ・文章の種類や読む目的に合わせて、どこが大切なのかなのかを考えながら読む。</p> </div> <div style="width: 22%;"> <p>【たいせつ】段落どうしの関係をとらえる ・段落と段落は、たがいに関係している。 ・段落ごとに何が書かれているかをとらえ、それらがどんな関係かを考えると、文章の組み立てが分かりやすくなる。</p> </div> <div style="width: 22%;"> <p>【たいせつ】要約する ・目的や必要におうじて、話や本、文章の内容を短くまとめることを、要約という。 ・要約には、元の文章の構成や表現を生かして短くまとめるものと、自分の言葉に言いかえて短くまとめるものがある。 ・元の文章のどの部分を取り上げるかは、目的によってちがってくる。</p> </div> </div> | | | |
| <p>五年</p> | <p>○段落どうしの関係を考える。 ○段落の中心となる言葉や文をとらえる。 ○事実や説明と筆者の考えの関係を考えながら読む。 ○文章の細かなところに注意して読む。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 22%;"> <p>【たいせつ】新聞を読む ・新聞は、さまざまな種類の記事が編集されて、紙面が構成されている。 ・記事は、見出しやリード文、本文、写真、図表などを効果的に組み合わせて書かれている。 ・目的におうじて、記事を選んだり比べたりするなど、いろいろな読み方ができる。</p> </div> <div style="width: 22%;"> <p>【たいせつ】要旨をとらえる ・筆者が文章で取り上げている内容の中心となる事がら、あるいは、それについての筆者の考えの中心となる事がらを要旨という。 ・筆者の考えは、文章の始まりやまとめに直接的に書いてあることが多い。 ・どのような事例や理由を述べているか、どのように考えを進めているかに、筆者のものの見方や考え方が表れることが多い。</p> </div> <div style="width: 22%;"> <p>【たいせつ】文章以外の資料を効果的に用いる ・科学読み物では、図表やグラフ、絵、写真などが説明に用いられることがある。 ・図表やグラフ、絵、写真などをを用いることによって、筆者は、伝えたいことを説得力をもって伝えようとしている。</p> </div> <div style="width: 22%;"> <p>【たいせつ】自分の考えを明確にする ・筆者の考えを正確にとらえ、そこから自分の考えを明確にするには、次のことに気をつけて読むとよい。 ・自分の知識や経験と重ねながら読む。 ・筆者の考えと事例がどのように結び付いているかを整理しながら読む。 ・筆者の考えに共感したり疑問に感じたりしたところがあったら、その理由を考える。</p> </div> </div> | | | |
| <p>六年</p> | <p>○要旨（内容の中心、あるいは、それについての筆者の考えの中心となる事がら）をとらえる。 ○筆者の説明や挙げている事例を、自分の知識や経験と結び付けながら読む。 ○考えと事例の関係を考えながら読む。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 22%;"> <p>【たいせつ】筆者の考えに対して、自分の考えをもつために ・筆者が何を考え、挙げている事例によって何を説明しようとしているかをとらえる。 ・文章を通じて、読者に何を考えてほしいのか、どんな行動をしてほしいのかなど、筆者が文章を書いた目的を考える。 ・筆者が述べている考えや説明について、自分の知識や経験と関係づけて考える。</p> </div> <div style="width: 22%;"> <p>【たいせつ】筆者のものの見方をとらえる 作品の見どころやすばらしさについて書かれた文章には、筆者のものの見方が工夫して表現されている。次のことに着目してみよう。 ・何を取り上げているか。 ・取り上げたものの、どこに目を向けて、どのような言葉で説明や解説をしているか。</p> </div> <div style="width: 22%;"> <p>【たいせつ】自分の考えを広げる ・感想や意見を伝え合うことによって、一人一人の考え方や、興味をもった点などのちがいに気づく。 ・自分とはちがう考えにふれることで、自分自身の考えを見つめ直したり、別の観点で考えたりする。</p> </div> </div> | | | |